

2024
No.074
10月号

October

「AMG協議会ニュースは、AMG協議会各部署からAMG全職員への情報発信を目的としています」

AMG News!



上尾中央医科グループ
AGEO MEDICAL GROUP

編集・発行人 AMG協議会総務部 広報室 <http://www.amg.or.jp>
〒362-0075 埼玉県上尾市柏座1-10-3-58 TEL:048-773-1113 FAX:048-773-7116
監修/(株)寿エンタープライズ 制作/(株)博愛社

2024-25 大同生命 SV.LEAGUEが10月12日に開幕!

いよいよ10月12日に新たに開幕する大同生命SV.LEAGUE。埼玉上尾メディックスが記念すべき開幕カードに選出されました。世界最高峰のリーグを目指し、新編成されたSV.LEAGUEの最初の女王を目指し、レギュラーシーズンを44試合戦い抜きます。

今シーズンは埼玉県内でのホームゲームを、上尾市民体育館で18試合、さいたま市のサイデン化学アリーナで2試合を開催。岩手県・花巻市総合体育館アネックスでは2試合を開催します!たくさんの応援を宜しくお願いします!

埼玉上尾メディックス



ホーム開幕情報

日 時 11月2日(土)、3日(日) 13:05
対戦相手 KUROBEアクアフェアリーズ富山
会場 上尾市民体育館
放送 JSPORTSオンデマンド
チケット情報 https://amg.or.jp/medics/news/2024_25/homegame/



JSPORTSオンデマンドに加入して
メディックスを応援しよう!

大同生命 SV.LEAGUE を



で観よう!



新加入選手情報

背番号 23
氏名 井上 奈々朱
(いのうえ ななみ)
ポジション ミドルブロッカー
生年月日 1989年6月19日
身長 179cm

新たに井上奈々朱選手が加入しました!
応援宜しくお願い致します!



こちらから購入すると視聴料金の一部が
クラブに還元されます!

埼玉上尾メディックス

外国籍選手、日本代表メンバー合流!

9月上旬、新外国人選手のマルコヴィッチ・ニカ選手、在籍3年目のロゾ・サラ選手、8月に行われたパリ・オリンピック後に休養に入っていた岩崎こよみ選手、山岸あかね選手がチームに合流し、10月12日(土)の開幕戦に向けて、本格始動しました!今シーズンも応援宜しくお願い致します!!



パリ・オリンピック日本代表選手団公式ユニフォーム展示

7月26日~8月11日にフランス・パリにて行われた第33回オリンピック競技大会(2024/パリ)に、岩崎こよみ選手が日本代表としてバレーボール競技に出場致しました。実際にセーナ川沿いで開催された開会式で着用した日本代表選手団公式ユニフォーム、ならびにバレーボール競技のユニフォームの展示を実施させていただきました。



第78回 国民スポーツ大会関東ブロック大会試合結果

埼玉上尾メディックス

埼玉県代表チーム 監督:吉野淳

8月20日、小瀬スポーツ公園体育館(山梨県甲府市)にて、第78回国民スポーツ大会・関東ブロック大会が開催されました。今年度は埼玉県出身の大学生と選抜チームを編成して出場し、埼玉上尾メディックスから6名の選手が埼玉県代表として出場しました。期限付移籍からチームへ復帰した栗栖選手やケガで離脱していた椎名選手、堀迫選手が中心となって出場し、惜しくも敗れましたが新しい形で挑戦した大会となりました。

試合結果

● 埼玉県 1-2 ○ 東京都 (24-26、25-23、23-25) ※予選敗退

背番号	選手名	所属
1※キャプテン	岳野 ひかる	埼玉上尾メディックス
2	権田 寛奈	埼玉上尾メディックス
3	椎名 真子	埼玉上尾メディックス
4	堀迫 雅	埼玉上尾メディックス
5	中田 愛那	青山学院大2年
6	栗栖 明歩	埼玉上尾メディックス
7	鎌田 咲希	埼玉上尾メディックス
8	井上 美紅	国士舘大4年
9	土橋 由里子	青山学院大2年
11	沼倉 美桜	江戸川大1年
13	渡曾 凧紗	嘉悦大2年
14	大友 萌加	国士舘大4年



#1 岳野ひかる大会キャプテン・コメント

今日もたくさんのご声援ありがとうございました!

悔しい結果になりましたが埼玉県選抜として、短い期間でたくさんコミュニケーションを取り合い、1点をチーム全員で喜び、最後まで団結して戦うことができたと思います!個人的には、劣勢になった場面での状況判断が遅いので、次の大会までに修正したいです。

即席チームでの出場でしたが、それ以上にチームの団結力が発揮出来たことが各々の成長に繋がったと思います。そしてファンの皆さんと更に団結し、新しくなるSVリーグを盛り上げていきたいですし、一緒に戦って頂けると嬉しいです!



日本透析医学会・日本臨床工学会演題発表報告

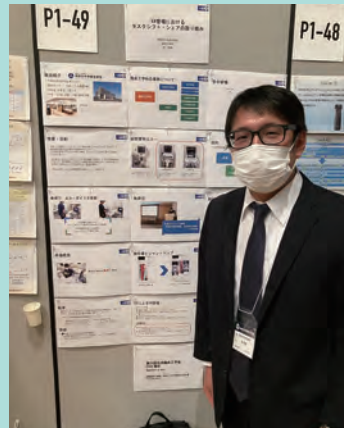
臨床工学部

臨床工学部では積極的な学会参加・演題発表を推奨しています。今回は、臨床工学技士として「日本透析医学会」と「日本臨床工学会」の重要な二つの学会での参加・発表の報告をいただきました。

第34回 日本臨床工学会

今回の学会に参加した感想・印象に残った発表

今回の学会のテーマは「臨床工学の更なる極みへ～知識・技術のシンカ～」です。各施設、タスクシフト・シェアの取り組みがメインとなり新しい追加業務への報告が多くなっていました。これから臨床工学技士として「シンカ」が求められていると感じました。また北陸新幹線が福井県敦賀まで延伸され福井駅周辺も活気があり新しい街並みに「シンカ」されていると思いました。



今回の学会・研修の内容

全体的にCEによるタスクシフト・シェアへの取り組みの発表が多かったと思います。特に手術室に関係するものが多く、スコープオペレーター業務や麻酔補助業務に取り組んでいる施設が多いと感じました。当院もスコープオペレーター業務を始めたので非常に参考になりました。総合病院で働くCEとして手術室への介入はこれから更に増えていくものだと思います。手術室の機器管理、スコープオペレーター業務、これから当院で始まる手術支援ロボットの管理業務を頑張りたいと思います。

津田沼中央総合病院 林 伸哉



演題発表一覧(演題名 病院・施設名 発表者名)

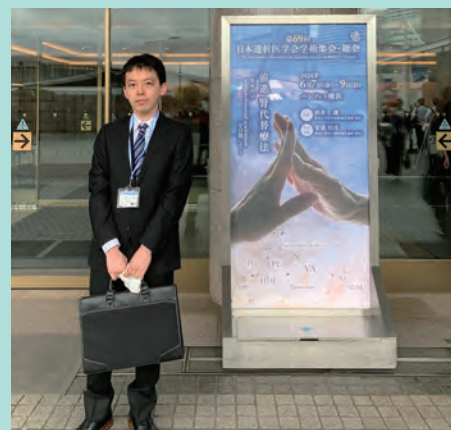
スコープオペレーターは突然に～現場の目線から初症例までの道のり～	彩の国東大宮メディカルセンター	矢作 麻結
スコープオペレーターは突然に～管理者としての関わり方～	彩の国東大宮メディカルセンター	中山 有香
VA管理におけるタスクシフト・シェアの取り組み	津田沼中央総合病院	林 伸哉
スパイグラスデジタル内視鏡に人工心肺用コネクタを用いた吸引圧比較実験	上尾中央総合病院	青木 暢
新人教育にラダーを用いた現状報告と今後の課題について	白岡中央総合病院	森本 瑠希
ソフトウェア・サービス社製電子カルテシステム ME機器管理ソフトの導入報告～運用開始を経験して～	伊奈病院	神谷 龍彦

第69回 日本透析医学会学術集会・総会

臨床工学部

今回の学会に参加した感想・印象に残った発表

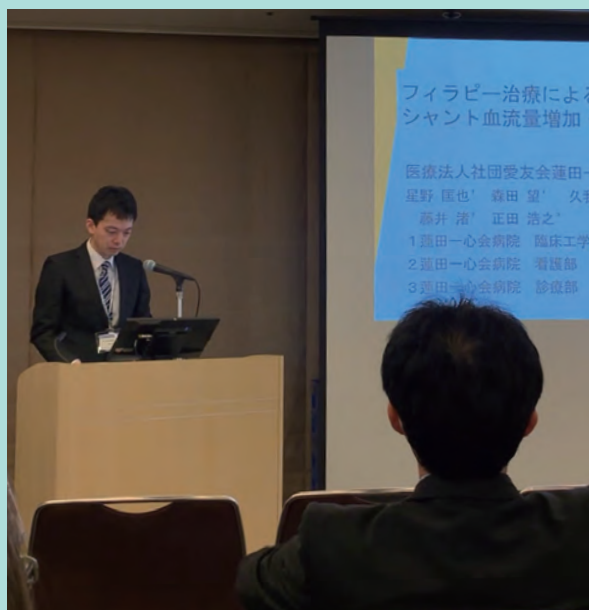
今回の学会のテーマは、『前進 腎代替療法～次世代のinterprofessional academismを目指して～』です。腎不全の合併症からの救済・克服とQOLの向上を目指して血液浄化療法とその対象疾患の病因、病態に関する研究発表、情報の提供等を行っています。また、透析医療に関わる企業から最新の機械や機材の展示があり、見学することができます。



今回の学会・研修の内容

今回、私が行った研究はフィラピーという機械を用いてシャント血管に対して効果があるか検証を行ったものです。初めての研究発表でしたので、思うように研究が進まず躊躇くこともありましたが、上司や医師、他スタッフの協力があり無事最後まで終えることができました。発表の準備も一人では行き詰まることが多く、発表スライド作成の助力や予行演習など多くの人が関わり、より良い研究・発表をするためには多くの人の協力が必要だと実感しました。今回の研究を通して得た知識や、学会に参加して学んだことを今後の業務に活かしていきたいと思います。

蓮田一心会病院 星野 匡也



演題発表一覧(演題名 病院・施設名 発表者名)

クリニカルラダー受講状況のアンケート調査	上尾中央総合病院	戸田 帝士
酸素飽和度変化監視機能を用いた透析患者における睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング	伊奈病院	神谷 龍彦
シールタッチカニューラGAの評価検討	勝田病院	清水 智恵
フィラピー治療によるシャント血流量増加・PTA周期の延長の検証	蓮田一心会病院	星野 匡也
ミゼアセーフを使用した当院の抜針予防への取り組み	蓮田一心会病院	森田 望
透析中の運動療法による血圧の変化と運動評価の変化	東川口病院	岡本 拓晃
シン・災害対策～血液シンポンプの手動操作を含む訓練の有用性の検討～	船橋総合病院	野村 拓史

人財開発室

2024年度 AMG係長以上全体研修会(オンライン)開催報告

2024年6月26日に、係長以上全体研修会を開催いたしました。

研修後、参加者の皆さまに報告書をご提出いただき、多数の質問がありました。いくつかの質問に対し、講師より回答をいただきました。AMGポータルにて回答をご紹介します。

研修会概要

日 時 2024年6月26日(水) 15:00～16:30

テーマ 自分自身の心を保つ、セルフケアを考える ～リーダーシップを育むために、自分自身を知りEQを高める～

講師 株式会社ブリングアウト 萩原綾子氏

研修会報告書より

質問①

VIA-ISを実施しましたが、逆にその時の感情によって特性が変わるような気もしました。

モチベーショングラフもありますが、これらは定期的に行ってその時の変化を受け止めることも必要なのでしょうか？

質問②

突発的に出る、また抑えられない感情をどうやってコントロールするのか、簡単にできる方法があれば教えていただきたいです。

業務過多なときほど、感情がむき出しになってしまいます。

質問③

感情の最適比率は、3:1と習いましたが、感情でネガティブな要素が多い場合、ネガティブに思考が振れすぎてしまっていると自己認識している時、ポジティブな考えを持つようにするべきでしょうか。それとも、ネガティブの中にある価値観を大事にしてあげるべきか？どのように思考をコントロールすればよいのでしょうか。

回答

萩原講師より、それぞれの質問のご回答をいただきました。一つひとつ、とても丁寧に説明してくださっているため、AMGポータルにて掲載しております。是非、ご確認ください。

<AMGポータル>



【回答閲覧】

AMGポータル>人財開発通常研修>研修No2408 AMG係長以上全体研修会>「内容」に掲載しています。

2024年度 AMG係長以上全体研修会フォローアップ
(オンライン)開催案内

実施概要

日 時 2024年11月27日(水) 15:00～16:30

対象者 2024年6月26日係長以上全体研修会に参加した職員(アーカイブ視聴での参加含む)

方法 オンライン

講師 株式会社ブリングアウト 萩原綾子氏

内容 フォローアップ

「自分自身の心を保つ、セルフケアを考える～リーダーシップを育むために、自分自身を知りEQを高める～」

- ◆自分自身をコントロールする
- ◆自信を持って難局を乗り越えるために

フォローアップ当日まで、6月開催「係長以上全体研修会」のアーカイブ配信をしております。

2024年度 認定看護管理者教育課程ファーストレベル終了!

キャリアサポートセンター

2024年度、5月10日より開催しておりました認定看護管理者教育課程ファーストレベルは8月17日を持って閉講しました。受講者は業務と両立しながら、慣れないレポートに取り組み6本の教科目レポートを書き上げました。オンラインでも講義後に交流会を設けたことで受講者同士が相談しあえる環境が提供できたと実感しております。アンケート結果と受講生からの声が届いています。

アンケート結果 回答状況 79名/83名(95%)

【教育目的】看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を習得する

総合的な満足度について

達成できた

90%

80%

70%

60%

50%

9

14

38

14

3

1

満足できた

90%

80%

70%

30

32

16

1

受講生の声

オンラインの研修だったため、全国の様々な分野で活躍されている管理者の人と交流する機会を持てたことがとてもよかった。

オンラインであったが、グループワークで他の参加者の話を聞いて悩みや、考えを共有することができた。

研修で学んだことを生かし、明日からの病棟管理に取り組んでいきたいと思う。

2024年度 マネジメント研修募集開始

今、求められる看護業務効率化 ～看護業務効率化取り組みガイドのポイント解説～

限られた人材で安心・安全・質の高い看護を提供し続けていくためにはあらゆる看護実践の場において看護業務に効率化が求められています。看護業務効率化の取り組みやノウハウの解説をしていただきます。看護業務の効率化に取り組むための一助となると思います。看護管理者の方々ご応募お待ちしております。

オンライン研修 看護管理者のための研修

Zoom

看護業務の効率化に取り組むための一助となる！

今、求められる看護業務効率化

～看護業務効率化取り組みガイドのポイント解説～

限られた人材で安心・安全・質の高い看護を提供し続けていくためには、あらゆる看護実践の場において看護業務の効率化が求められています。看護業務効率化の取り組みを導入する際のヒントやノウハウを解説していただきます。

日時 2024年12月12日(木) 14:00～16:00

講師 高橋 良成講師

対象 看護管理者

受講料 3,000円

申込期間 10月15日(火)～11月14日(木)

申込先 03-6361-0935

上野中央医療グループ協議会キャリアサポートセンター

Tel: 03-6361-7766 Mail: ccs@amg.or.jp

URL: https://amg.or.jp/career_support/

2024年度 感染管理認定看護師教育課程 進捗

8月に特定行為研修を修了、9月から専門科目の研修に入りました。いよいよ、後半戦です。12月からの実習に向けて準備を進めています。

実習施設は、埼玉県内4施設・県外2施設にお願いしています。さらに学びを深め、施設や地域に貢献できるよう、育成してまいります。

2025年度 感染管理認定看護師教育課程 受講生募集中

2025年度 感染管理認定看護師教育課程を開講します！

今後のキャリアを感染管理認定看護師として、活動してみませんか？

受講希望の方、感染管理認定看護師に興味のある方、個別相談会を行っています。

お気軽に連絡してください！

2025年度 感染管理認定看護師教育課程 (B課程) ～個別相談会のお知らせ～

受講を希望される方へ、個別相談会を行います。

★相談日程はご相談ください。

・事前準備

・試験対策

・研修内容 などについてもお答えします。

★会場 AMG学習館 (〒462-0236 名古屋市中区上区役所1-2-20)

★アクセス 地上駅 徒歩3分

★お申込みはこちら

お問い合わせ先

研修担当：野村 真由美

E-mail: ccn@amg.or.jp

TEL: 048-773-8111 (平日 9:00～17:00)

2025年度 感染管理認定看護師教育課程 募集概要

出願期間 2024年10月 1日(火)～10月31日(木)

試験日程 2024年11月20日(水)

合格発表 2024年12月13日(金)



表彰者紹介

看護本部

「令和6年度 埼玉県看護功労者知事表彰」受賞

上尾中央総合病院 情報管理部 感染管理課 課長 荒井 千恵子
AMG協議会キャリアサポートセンター 科長 白井 由加里



この度、令和6年度埼玉県看護功労者知事表彰を受賞することができました。この栄誉のある賞を受賞できたのは、私個人の力ではありません。COVID-19の流行により、自施設や地域の感染対策活動を担えるような環境を提供していただいた病院関係者の皆さま、上尾中央総合病院のICTメンバーのおかげだと思っております。

今後も保健所と連携し、地域に貢献できる感染対策活動を継続してまいります。

白岡訪問看護ステーション 所長 中村 由美子
(訪問看護認定看護師)



私は県内で28年間、そのうち白岡訪問看護ステーションでの管理者経験は22年目となります。事業を拡大する傍ら、白岡市介護保険事業計画策定への参画、また埼玉県訪問看護ステーション協会の理事として県の委託事業である新卒・新人訪問看護師育成プログラムや管理者研修の運営及び講師等を努めて参りました。今回の県知事表彰は、皆様のご理解・ご協力の賜物と深く感謝するとともに、今後も訪問看護の質的・量的拡大に向けて微力ながら貢献していければと思います。

「令和6年度 埼玉県看護協会会長表彰」受賞

上尾中央看護専門学校 通信学科 専任教員 長澤 明子

この度、旧第5支部長を6年間務めさせていただき、令和6年度埼玉県看護協会会長表彰を賜りました。令和2年度埼玉県看護功労者知事表彰に続き、このように晴れがましい栄誉を得ましたことは、ひとえに、諸先輩、上司をはじめ同僚の方々の看護協会活動のご理解、ご協力の賜物と心から感謝しております。厚くお礼を申し上げるとともに、これからも微力ながら看護職の発展のために尽くしていく所存です。



AMG Nursing Team



表彰者紹介

看護本部

「令和6年度 神奈川県看護協会会長表彰」受賞

ナーシングプラザ港北 看護部長 加藤 佳代子



私は、この度、神奈川県看護協会会長賞を受賞させて頂きました。

私は、看護職能委員会Ⅱの委員を務めさせて頂き、病院や訪問看護などの在宅部門の方々と、意見交換、情報共有させて頂き、施設の看護の学びとなりました。

会議は、月に1回ですが、職員の皆様の理解と支えがあり参加することが、できました。心より感謝申し上げます。

今後は、これまで以上に、施設、地域のために一層、尽力していきます。

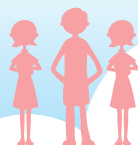
ありがとうございました。



AMG Nursing Team

上尾中央医科グループ

医療の質向上委員会



AMQI

The AMG Committee of
Medical Quality Improvement

お問い合わせ先 | AMQI事務局（上尾中央総合病院 組織管理課） e-mail ▶▶ omr@ach.or.jp

連載 第65回 「もっと！チームで質の高い医療を実践するために」

医療は国民にとって信頼できるものでなければなりません。私たち医療従事者は常に医療の質を向上させていく努力をし続ける必要があります。社会は変化し医療も進化しています。医療機能評価を受審することは、現時点での自分たちの医療がどうであるかを知るチャンスです。医療機能評価機構が掲げる次世代医療機能評価のビジョンは「医療機能評価を通じて、患者が安心して医療を享受でき、職員が働きやすく、地域に信頼される病院づくりに貢献する。」と示しています。機能評価機構の目指すものそのものが医療の質を向上することにつながるのです。受審に向けて、どこかの病院でもまず自己評価を実施します。いかに客観的に自己評価を実施できるかですが、その際機能評価の解説集をよく

読むと自分の病院を俯瞰して見ることができます。「頑張っている」という思いだけが先に立つと客観的になれません。ですから多職種で評価しあうことが重要です。お互いに知らない分野を聞きあって、より病院をよくするために議論します。こんなにも自分の病院について知らなかったことに気づきます。自分の病院をよく知り理解することが出発点になるのです。そしてチームで医療を考え実践していることを表現することがアピールになります。人は一人ひとり違うように、病院も同じ病院は一つもありません。多職種で、チームで機能評価受審をきっかけに、より良い医療を目指し次世代へつないでいきましょう。

看護担当 住谷 眞由美

「コミュニケーションと面接技術」研修 開催報告

7月26日、専門シリーズ研修②「コミュニケーションと面接技術」を開催。

講師は静岡県立がんセンター、Maggie's東京の福地 智巴先生。参加者26名。支援対象者を多角的に理解するために必要なこと等を、講義を通して学んだ後、演習・ロールプレイを通じて、実践的に面接技術について学びました。

言葉のみならず、態度や姿勢で伝わり方が変わることも実感でき、充実した研修になりました。



面接のロールプレイを行う様子



講師と参加者

「子育て世代研修交流会」 開催報告

9月5日、サポートシリーズ研修①「子育て世代研修交流会」を開催。参加者14名。オープニングスピーチでは、木村課長(メディカルトピア草加)、颯川主任(エルサ上尾)より「子育て・就労両立支援」をテーマに、子育てのエピソードを交えてお話いただきました。第1部では、「仕事と育児の両立について」をテーマに、日頃の悩みや工夫していることなどをグループディスカッション、第2部では「働きやすい環境づくり」をテーマに、アイデアをだしながら交流を図りました。

同じ悩みを持つソーシャルワーカー(以下SW)の交流の場として、明日からの活力になるような会となりました。



「ソーシャルワーカーの基本姿勢」研修 開催報告

9月27日、新人シリーズ研修②「SWの基本姿勢～私の価値観と専門職の価値・倫理～」を開催。参加者29名。萩原係長(さがみりハ)が講師となり、「AIでソーシャルワークは可能か?」という問いから、命・家族・友情・お金等の個人の価値観に順位付けグループワークを通して、SWの専門性や基盤について楽しく学びました。1年目の新人SWのほか、リピーター受講者も参加し、1年目とは異なる価値観を自覚する充実した研修となりました。



病院運営部門 管理職会議 開催報告

9月25日、病院管理職会議を開催。適時調査や機能評価を含めた近況報告、事前アンケートに基づくグループワークで意見交換をしました。AMG内連携、AMG外連携に業務多忙な中でも、各病院の対応や取り組みを共有することで、SWの働きやすさや患者様の利益に繋がればと考えています。今年度は病院運営部門でニュースレターの発行やサロン開催という新たな取り組みも進めていく予定です。引き続きご協力よろしくお願いします。

未来のソーシャルワーカーをサポート 出張授業報告

社会福祉を学ぶ首都圏の学生を対象に、SWが出張授業を実施。医療介護業界で活躍する福祉職の役割、意義など多岐に渡る講義を実施。

1校目講師は萩原主任(柏厚生)、滝沢主任(津田沼)、淵上(横浜相原)、初鹿課長(SW部)、橋本課長(SW部)。

2校目講師は藺田(伊奈)、椋野(上尾第二)。

3校目講師は瀬田(三郷)、岸本(越谷)、杉山課長(CC習志野)。

学生、教員から共に反響が高く、2024年内に、4校目での開催を予定しています。

私達SW部は、今後も各学校と協力し、未来のSWサポートに努めます。



藺田さん(伊奈)・椋野さん(上尾第二)



淵上さん(横浜相原)



萩原主任(柏厚生)



滝沢主任(津田沼)



岸本さん(越谷)



瀬田さん(三郷)

新潟の母校訪問報告(人事部&SW部)

新潟青陵大学キャリアセンターを、人事部 採用戦略室 堀越課長、渡邊係長、SW 松澤(HC流山)が訪問。

OGの関東での一人暮らし(AMG寮)、サポート体制、SW業務の働きがい等について意見交換。首都圏に展開するAMGでは採用数が圧倒的に多く、手厚いサポートがあることを理解頂きました。他学科も同様のニーズがあるとのことで、医療マネジメント職への志望も増えるかもしれません。



松澤さん(HC流山) 渡邊係長(人事部)

2024年度管理職交流研修会

リハビリテーション部

8月2日～3日の2日間にかけて、習志野市のトーセイホテル&セミナー幕張にて、管理職対象(係長以上)の宿泊研修を開催しました。約5年ぶりの集合型での開催となり、2日間で計116名が参加しました。

研修目標

- ・他施設の管理職と交流し、研修後に相互に連絡できる関係性を構築できる
- ・他施設から自施設の課題解決のヒントを得て、具体的な課題解決案を立案できる

～1日目～

研修内容

【1日目】講義とグループワーク

- ・リハ部門の組織図とMission/Vision/Value
- ・人財育成&職員満足度に関する企画
- ・リハビリテーションの質に関する企画

【2日目】施設別発表会とディスカッション

- ・2023年度目標達成状況&2024年度進捗報告
- ・運営支援に関する企画(ポータルサイトの説明)



初めて会った人、話したことない人と名刺交換。病院老健やエリア、職位の垣根を越えて交流する良い機会になりました。

名刺交換



グループワーク



キャリア支援アウトカム指標に関する施設目標について、5つのテーマ(自己成長・能力開発/キャリア形成支援/仕事の楽しさへの支援/様々な働き方への対応/離職予防対策)に分かれてグループワークを行いました。施設の課題について情報共有し、共通課題の対策を話し合いました。

リハビリテーション部



懇親会



奥村部長の開会の挨拶でスタート



司会の中島係長(八潮)

研修終了後に懇親会を開催しました。おいしい料理とお酒もあり、明るい雰囲気での交流を楽しむ姿が見られました。二次会も大盛況でした！



乾杯の発声は山口科長(彩の国)



二次会

～2日目～

研修の2日目は、病院ブースと老健ブースに分かれ、各施設の「2023年度目標達成状況と2024年度目標設定&進捗発表会」を行いました。発表後、参加者の投票によって優秀発表に選ばれた施設は「上尾中央総合病院」「横浜鶴見リハビリテーション病院」「エルサ上尾」でした！

研修会に参加した感想(アンケートより一部抜粋)

- 対面での研修は、やはり熱量がバシバシ伝わってきました。そして、リアルに顔が見える場、仲間意識が高まりました。
- 係長まで参加者を拡大したことで新たな出会いもあり、とても有意義な時間でした。また対面で行うことで緊張感などの雰囲気を共有することで、より実感のこもった議論やアドバイスに繋がったと思います。
- 他施設の状況を知ることができ、自施設での悩みに対しても色々なアドバイスをいただくことができました。多くの施設、管理職がいるAMGのメリットを久々に実感することができました。
- 実際に組織運営している方々の発表を聞け、工夫している点や悩んでいる点を共有出来たことは非常に有益でした。
- 会場が近かったことで、時短勤務中の係長も参加でき、とても有難かったです。

参加者アンケートの回答結果(回答数:100件)

- 興味深い…77% ○やりがいがあった…85%
- 自信が持てた…75% ○参加して良かった…84%

管理栄養士と言語聴覚士がいるインクルーシブカフェ「つばめのごはんや」始めました！**栄養部**

インクルーシブとは「すべてを包み込む」という意味があります。子どもから高齢の方まで、嚥下障害があってもなくても、住み慣れた地域の中でみんな一緒に「美味しい」を分かち合い楽しく食事ができる！そんな場所をつくりたいという想いのもと、ハートケア湘南・芦名の管理栄養士と言語聴覚士が有志の管理栄養士と協働で「インクルーシブカフェつばめのごはんや」を開店することとなりました。

開店に際しては、職場の理解やたくさんの方にご協力ご支援いただきとても感謝しております。

月に4回程度の営業ではありますが、5月の開店以降、横須賀市内外の医療介護関係者の他、嚥下調整食の必要な当事者の方や一般市民の方にもご利用いただいております。今後も地域での健康づくりや嚥下調整食についての啓発活動、認知症や障害をお持ちの方の外出支援にも積極的に協力をしていきたいと思っております。

お近くにお越しの際には、是非お立ち寄りください。

つばめのごはんやの全ての料理は、「歯ぐきでつぶせる」から「舌でつぶせる」のやわらかさに調整しています。ミキサー食や水分トロミにも対応しています。

ハートケア湘南・芦名 栄養科 名古 亜貴子



つばめのごはんやメンバー



つばめのごはんや定番「柔らかハンバーグ」



栄養の日メニュー



横須賀市のピンクシャツデー活動に参加

埼玉県栄養関係功労者知事表彰 優良特定給食施設受賞！

令和6年度埼玉県栄養関係功労者知事表彰において、三郷ケアセンターが優良特定給食施設を受賞しました。

開設以来、長年にわたり厨房内業務は株式会社レオックと委託契約を結んでいます。給食委託会社の管理栄養士や調理師等と施設の管理栄養士が長年に渡り相互協力し、生活や療養のための安心で安全な食事の提供に努めています。栄養管理についても安全かつ個々の機能維持を促す食事形態での食事提供を行い、多職種連携によるリハビリテーションを通じ、ADL向上に寄与しています。

ご利用者の食事満足度調査結果を出来るだけ献立に反映して満足度に繋げていき、病院と違い、生活の一部である食事として、家庭で食べているようなメニュー(カレー、丼、麺類など)を定期的に提供しています。令和5年度より栄養マネジメント強化加算を算定開始し、体制整備に尽力しています。

三郷ケアセンター 栄養科 山崎 綾

